

第4学年国語科学習指導案

1. 単元名 調べて発表しよう 「わが町を伝えよう」

2. 指導観

○ こんな子どもだから

本学年の子どもたちは、これまでに国語科「伝言はまちがえずに」において、正確に分かりやすく話したり、大事なことに気をつけて聞いたりすることを学習している。また、2学期初めに資料を提示しながら自分の思いや考えを発表している。「話すこと」においては、相手に分かりやすく発表する意識が十分ではなく、適切な声の大きさや速さで話すことができない子どもが多い。また、発表に対する意欲にも差を感じることもある。

○ このような学習で

本単元は、点字に関する資料を読み、身近な福祉について調べ発表するものである。しかし子どもたちは、総合的な学習の時間において、「〇〇の町 再発見！～ディスカバー〇〇 伝えようわが町～」というテーマで、自分たちが住んでいる地域のことを福祉にとどまらずゴミや自然などについて、自分の興味関心をもとに調査してきている。そこで、本単元を総合的な学習の時間で学習してきたことを発表する場面につなげることで、話す必要感を持つことができ、発表意欲が高まると考えられる。

また本単元では、「話すこと」の技能を焦点化した場が設定されている。発表する際にどう話してよいのか分からない子どもにとって、話し方を理解することができ、相手や目的に応じて話せるようになる上で意義深いと考える。

本単元の小中連携教育の視点

この学習は、話す・聞く系統表の「順序を考えて話す」「資料や具体物を使って話す」「伝えたいことを選ぶ」をねらいとしており、高学年の内容につながる上でも意義深いと考える。

○ このような支援で

本単元の大きなねらいは、総合的な学習の時間に取り組んできたこと（「〇〇の町 再発見！」）を多くの人に考えてもらえるように、工夫して発表しようとすることである。

そこで、まず発表をする時の話し方の課題が明確になるように、モデルビデオを準備する。そのモデルビデオを視聴し、よさや改善点を話し合っていくことで、子どもたちの活動に見通しを持たせることができると考えている。次に、自分が話し方のポイントを意識して話しているか振り返るようにしていく。この時、子どもたちは発表練習をしていくものの、自分を客観的に見るのは難しいので、友だち同士で発表を聞き合い、話し方のポイントに沿ってよさやアドバイスを伝えていくようにする。この活動により、自分の発表を付加・修正・改善することができ、自信を持って総合的な学習の時間の発表会を迎えることができると考える。

また、各学級の実態に合わせて、本単元の第2次を2種類の形態で支援していく。一つは代表児の発表を基に共通理解を深めていく形態、もう一つはグループ内での他者評価を入れ、振り返りの場を設定する形態で支援していく。

3. 目標

- 総合的な学習の時間に取り組んできたこと（「〇〇の町再発見！」）を、少しでも多くの人に考えてもらえるように、工夫して発表しようとするができる。
- 総合的な学習の時間に取り組んできたことを効果的に伝えることができるように、資料を指し示したり、聞き手を引きつける工夫をしたりして話すことができる。
- 話の順序が分かるように、発表する内容をメモにまとめることができる。
- ポスターセッションをよりよいものにするために、「話し方のポイント」に沿って、友だちのよさやアドバイスを伝えることができる。

4. 学習計画（全13時間）

学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点（※他教科との関連）						
<p>1. 単元のめあてをつくる。 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間に取り組んだことをもとに、二人組で対話活動をする。 ○ 対話の反省を出し合い、単元のめあてをつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>単元のめあて</p> <p>「〇〇の町 再発見！」で分かったことを、工夫してみんなに分かりやすく伝えよう。</p> </div> <p>2. ポスターセッションでの効果的な話し方について考える。 ①</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">A</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデルビデオを見て、友だちに分かりやすく伝えるには、どんな話し方をすればよいのか話し合う。 ○ ポスターセッションの練習をする。 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ モニター役からよかったところやアドバイスを聞く（4の〇本時） </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表児による発表を見聞きし、自分の課題を明らかにする。（4の〇本時） </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ モニター役からよかったところやアドバイスを聞く（4の〇本時） </td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 発表メモを作り、発表の練習をする。 ⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間で活動したことをもとに発表メモを作る。 ○ 発表メモをもとに、ポスターセッションのポイントを考えながら練習する。 <p>4. グループ内でお互いの発表を見合う。 ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表児によるポスターセッションを見て、よさやアドバイスを話し合う。 ○ グループで互いのポスターセッションを見合い、よさやアドバイスを伝える。 <p>5. 自分のポスターセッションの付加・修正・改善をする。 ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の振り返り活動を受けて、より効果的な発表へと仕上げる。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ モデルビデオを見て、友だちに分かりやすく伝えるには、どんな話し方をすればよいのか話し合う。 ○ ポスターセッションの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ モニター役からよかったところやアドバイスを聞く（4の〇本時） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 代表児による発表を見聞きし、自分の課題を明らかにする。（4の〇本時） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ モニター役からよかったところやアドバイスを聞く（4の〇本時） 	<p>※ 総合的な学習の時間で校区を調査したり、課題解決したりする。（テーマ：自然・ゴミ・福祉・安全・交通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対話活動をもとに反省を出し合うことで、発表会（ポスターセッション）で分かりやすく伝えようとする必要感をもてるようにする。 ○ モデルはビデオを視聴し、資料の指し示し等のポイントが明確になるようにする。 ○ 一般的な発表のモデルとより効果的な発表のモデルを準備する。 ○ 練習原稿を準備し、指し示しの練習ができるようにする。 ○ 代表児の発表を見て、ポイントを再確認できるようにする。A（4の○） ○ 自己評価と他者評価をもとに、本時のまとめにつなげる。B（4の○） <p>※ 総合的な学習の時間で、ポスターセッションに向けての資料等の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表メモはプリントを準備し、順序を考えやすいようにする。 ○ 事前に学習したポイントを掲示しておく。 ○ 代表児の発表後に振り返り活動を全体で行い、振り返りの視点を明確に持てるようにする。 ○ 前時の活動をノート等で振り返り、本時活動に生かせるようにする。 <p>※ 総合的な学習の時間でポスターセッションによる発表会を行う。</p>
A	B						
<ul style="list-style-type: none"> ○ モデルビデオを見て、友だちに分かりやすく伝えるには、どんな話し方をすればよいのか話し合う。 ○ ポスターセッションの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ モニター役からよかったところやアドバイスを聞く（4の〇本時） 						
<ul style="list-style-type: none"> ○ 代表児による発表を見聞きし、自分の課題を明らかにする。（4の〇本時） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ モニター役からよかったところやアドバイスを聞く（4の〇本時） 						

本時学習指導案（2 / 1 3 A）

公開授業 I

1. 本時の目標

- モデルビデオの視聴を通して、総合的な学習の時間に取り組んできたことが効果的に伝わる発表の仕方を理解することができる。
- ポスターセッションが効果的に伝わる発表の仕方（ポスターセッションのポイント）を意識しながら発表の見通しを持つことができる
- 友だちの発表を見てポスターセッションのポイントを相互理解し、これからの自分の発表につなぐことができる。

2. 本時の指導にあたって

本時の仮説

子どもがポスターセッションにおいてどう話したらよいか理解できるように、モデルの提示の仕方を工夫して代表児による共通理解の場を設定すれば、総合的な学習の時間で取り組んだことを工夫して伝えようとする意識を持つことができるであろう。

単元の導入にあたっては、単元のめあてをつくり、みんなにわかりやすく伝えるためにはどのように話せばよいか、という課題意識のもとに学習してきた。そして前時において、総合的な学習の時間で活動したことをうまく話せるか考えるために、二人組で活動してきたことを伝え合っている。しかし、児童の実態としては、「聞き手の方を向いて話す」はできているものの、「適切な声の大きさや速さで話す」ことや相手を意識してうまく伝えることが十分でない子どもが多い。よって対話活動を行った上で、対話の反省を出し合い発表会（ポスターセッション）で分かりやすく伝えようとする必要感を持たせるようにした。を持たせるようにしてきた。

本時では、聞き手に効果的に伝わる発表の仕方を理解し、工夫して話そうとする意識を持つことをねらいとしている。具体的な発表の仕方としては以下の3点とし、ポスターセッションのポイントとして位置付けていく。

◎ ポスターセッションのポイント

- ・ 相手を意識し、順序が分かるように話す。（まず、次に、そして、最後に等）
- ・ 資料を指し示しながら話す。（点指し、丸指し、線指し）
- ・ 聞き手を引きつける工夫をして話す。（問いかけ、クイズ、間の取り方）

本時指導にあたっては、ポスターセッションのポイントを理解できるようにモデルを提示し比較する。一般的な発表のモデルとポイントをおさえ、さらに効果的なモデルの二つを準備し比較することで、ポイントが明確になるようにしていく。またポイントをおさえした後、実際にポイントを意識しながら即興で練習をしてみる。この段階では、総合的な学習の時間のまとめができていないので、教師が準備した原稿と資料を使って話せるようにしたい。そして代表児の発表を聞いて、ポイントの共通理解及び自分の原稿との比較を通して、自分の発表を振り返らせ、ポスターセッションに向けての課題の意識化をはかりたい。

本時の小中連携教育の視点

本時は、話す・聞く系統表の「資料や具体物を使って話す」を身に付けることを主なねらいとしており、これは、高学年の話す力に発展していくための基礎となるものである。

3. 準備

(教師) モデルビデオ, モデル原稿の拡大図

(児童) 学習プリント, モデルの原稿, 練習用の資料と原稿, 画板

4. 本時の展開

学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点
<p>1, 前時の学習を想起し, 本時のめあてをつかむ。</p> <div data-bbox="151 443 829 526" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のめあて 分かりやすいポスターセッションにするためにはどうすればよいのか考えよう。</p> </div> <p>2, モデルビデオを視聴し, ポスターセッションの工夫について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデルビデオを視聴し, 比較した上で話し方の工夫を考える。 ○ 考えたことをもとに, ポスターセッションのポイントをとめる。 <div data-bbox="194 875 804 1111" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事柄の順序が分かるように話す。(まず, 次に, そして, 最後に) ○ 資料を指し示しながら話す。(点指し, 丸指し, 線指し) ○ 聞き手をひきつける工夫をして話す。(問いかけ, クイズ, 間の取り方) </div> <p>3, ポスターセッションのポイントを意識しながら話す練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポイントの中から「資料を指し示しながら話すことに絞って練習をやってみる。 ○ 代表児の発表を聞いて, 発表のポイントを共通理解し, 自分の発表と比べる。 ○ 友だちの発表を聞いて, 工夫しているところやポイントを使った発表のよさに気づく。 ○ 自分の発表と比べ, さらに意識しなければいけない点はどこか, 振り返る。 <p>4, 自己の話し方を振り返りながら, 次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的な話し方ができるように, 課題の意識化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時学習を想起しやすいように, 前時の学習プリントを振り返るようにする。 ○ ポスターセッションでの工夫を明確にするために, 一般的なモデルとさらに効果的なモデルを準備し, 比較できるようにしておく。 ○ 接続詞を使い, 話す事柄の順序がはっきりしていることを理解できるように, 児童に2つのモデルの原稿を配布し, 考えさせる。 ○ 子どもの言葉からポスターセッションのポイントごとに分類し, 板書をまとめるようにする。 ○ モデルとは違う資料と原稿を渡し, 資料の指し示し方の練習ができるように準備しておく。 ○ 代表児の発表の工夫しているところやポイントに目を向けるようにする。 ○ ポイントを再認識させながら, 自分をもっと工夫しなければいけないところはどこか考えさせる。

5. 板書計画

まとめ	モデル原稿の 拡大	① 順序が分かるように話す。 ② 資料を指し示しながら話す。 ③ 聞き手をひきつける工夫をして話す。	ポスターセッションのポイント	分かりやすいポスターセッションにするためにはどうすればよいのか考えよう。	調べて発表しよう 「わが町を伝えよう」
-----	--------------	--	----------------	--------------------------------------	------------------------

本時学習指導案（2 / 13 B）

公開授業Ⅱ

1. 本時の目標

- モデルビデオの視聴を通して、総合的な学習の時間に取り組んできたことが効果的に伝わる発表の仕方を理解することができる。
- ポスターセッションのポイントを意識し、自分が取り組んだことを工夫して発表しようとする意欲を持つことができる。
- 二人組で練習を行い、振り返りの場で互いのよさやアドバイスを伝えることができる。

2. 本時の支援・指導にあたって

本時の仮説

子どもがポスターセッションにおいてどのように話したらよいのか明確に理解できるように、モデルの提示の仕方を工夫して、振り返りの場でアドバイスを伝え合えば、総合的な学習の時間に取り組んだことを工夫して伝えようとする意欲を持つことができるであろう。

前時では、総合的な学習の時間で活動したことをうまく話せるか考えるために、二人組で活動したことを伝え合った。その際、「聞き手を見て話す」ことは意識できているものの、適切な音量で話すことができなかつたり、伝えたいことをどう話していいのかわからなかつたり、相手を引きつけて話すことが十分でない子どもが多かつた。そこで、前時の学習の最後に、本単元のめあてをつくり、みんなに分かりやすく伝えるためにはどのように話せばよいのかという課題意識を持たせるようにしてきた。

本時では、聞き手に効果的に伝わる発表の仕方を理解し、工夫して話そうとする意識を持つことをねらいとしている。具体的な発表の仕方としては以下の3点とし、ポスターセッションのポイントとして位置づけていく。

◎ ポスターセッションのポイント

- ・ 相手を意識し、事柄の順序が分かるように話す。（まず、次に、そして、最後に・・・等）
- ・ 資料を指し示しながら話す。（点指し、丸指し、線指し）
- ・ 聞き手をひきつける工夫をして話す。（問いかけ、クイズ、間の取り方）

本時指導にあたっては、ポスターセッションのポイントを理解できるようにモデルを提示し比較する。このモデルの提示は、一般的な発表のモデルとポイントをおさえた効果的なモデルの2つを準備し比較させることで、本時のポスターセッションのポイントが明確になるようにしていく。この後、実際にポイントを意識しながら即興で練習してみる。この段階では、総合的な学習の時間のまとめができていないので教師が準備した原稿と資料を使って話す練習をする。そして、グループで発表をし、モニターの子どもたちに本時のポイントが達成できているかを評価させ、よかったところやアドバイスを伝えるようにする。他者評価を受けることで、自分の話し方のよさや改善点にも気づかせたい。また、モニターをする子どもたちにとっても、ポイントが明確になり、自分の活動に生かすことができると考える。

本時の小中連携教育の視点

本時は、話す・聞く系統表の「資料や具体物を使って話す」を身に付けることを主なねらいとしており、これは高学年の話す力に発展していくための基礎となるものである。

3. 準備（教師）：モデルビデオ，モデル原稿の拡大図，

（児童）：学習プリント，モデル原稿，練習用の資料と原稿，画板，ふり返りカード

4. 本時の展開

学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点
<p>1. 前時学習を想起し、本時のめあてをつかむ。</p> <div data-bbox="172 230 778 387" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のめあて 分かりやすいポスターセッションにするためには、どうすればよいのか考えよう。</p> </div> <p>2. モデルビデオを視聴し、ポスターセッションの工夫について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデルビデオを視聴し、話し方の工夫を考える。 ○ 考えたことをもとに、ポスターセッションのポイントをまとめる。 <div data-bbox="172 685 778 949" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 順序が分かるように話す。 (まず、次に、そして、最後に) ○ 資料を指し示しながら話す。 (点指し、丸指し、線指し) ○ 聞き手をひきつける工夫をして話す。 (問いかけ、クイズ、間の取り方) </div> <p>3. ポスターセッションのポイントを意識しながら話す練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポイントの中から「資料を指し示しながら話す」ことに絞って、二人組を作り、練習する。 ○ 相手がポイントを意識してできていたのか、よかったところやアドバイスを伝える。 <p>4. 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時学習を想起しやすいように、前時の学習プリントを振り返るようにする。 ○ ポスターセッションでの工夫を明確にするために、一般的なモデルとさらに効果的なモデルを準備し、比較できるようにしておく。 ○ 接続詞を使い、話す順序がはっきりしていることを理解できるように、子どもに二つのモデルの原稿を配布し、考えさせる。 ○ 子どもの言葉からポスターセッションのポイントを分類し、まとめる。 ○ 資料の指し示しの練習ができるように、教師がモデルとは違う資料と原稿を準備しておく。 ○ 二人組をつくり、互いのよさやアドバイスを伝えるようにする。 ○ よかったところやアドバイスを伝えるためのできたかなカード（他者評価カード）を配る。 ○ 自己の話し方を振り返りながら、課題の意識化を図る。

5. 板書計画

<p>※モデル原稿拡大</p>	<p>聞き手をひきつける工夫をして話す。 (問いかけ、クイズ、間の取り方)</p>	<p>資料を指し示しながら話す。 (点指し、丸指し、線指し)</p>	<p>順序が分かるように話す。 (まず、次に、そして、最後に)</p>	<p>ポイント</p>	<p>めあて 分かりやすいポスターセッションにするためには、どうすればよいのか考えよう。</p>	<p>調べて発表しよう 「わが町を伝えよう」</p>
-----------------	---	--	---	-------------	--	--------------------------------